

小野活性化協議会、発足から3年余り。この春メンバーの入れ替わりや運営の見直しを行いましたので、第4号ではこれまでの会の活動や今後の方向について地域の皆様にお示しします。

活性化協議会Q&A

Q1、活性化協議会って何？

A 平成27年、より良い小野地区の将来を形作る活動をするを目的に作られました。結成当時のメンバーは27名。

Q2、どんなことをしてきたの？

A 取り組む課題を4つに絞り、それぞれのグループで取り組んできました。

- ①診療所・薬局開設ワーキンググループ
- ②生活交通ワーキンググループ
- ③農産物加工ワーキンググループ
- ④直売所ワーキンググループ

先進地域の視察、関係諸機関への働きかけ、事業実現に向けての具体策の検討。

Q3、その結果、具体的にはどうなっているのかな？

- A
- ① 山口県全体での医師不足、西浦・富海・小野での診療所開設は難しい。
 - ② アンケートの実施や市への働きかけから、バス乗車の際の一部補助などが実現。
 - ③ 販売目的の加工品製造に向けての諸条件の把握。製造場所や製造者について未発掘。
 - ④ 常設の店舗や自前の販売トラック等は難しい、行事の際の販売を現地で実施。

Q4、実現できたことは？

☆ 小野公民館での毎月2回の「デイステーション」の実施。

介護予防と外出支援を目的に、包括支援センターとひとつの会の支援を受け、①健康相談②頭と体の体操③昼食④買い物⑤午後いろいろなメニュー、全体で約3時間。参加者は20名程度。

☆ 弁当の宅配サービス 希望者に月曜日と木曜日に500円で弁当をお宅まで配達。

☆ 一部の協議会のメンバーがボランティアで病院等への送迎を実施。

☆ シャクナゲ祭り、佐波川鯉流し、ふれ合い祭りでの食品の製造販売。

Q5、今後の取り組みについては？

たくさんの実現したい夢を数え上げた夢プラン作成から3年、壁にぶつかっては夢に終わりそうな日々でした。しかし、「小野に住んで良かった」と思える地域にしたいという熱い思いに変わりはありません。

- ① これまでに実現できたことの定着と広がりを目指す。
- ② 県や市、同様の課題を抱えた地域と連携し、情報収集しながら、そして、何より地域の実情把握に努めながら、できることから取り組んでいく。
- ③ 協議会の運営を小野地域の皆さんに知ってもらうため、広報活動に努める。